

第 26 回 新春親善少年サッカー大会要項

日時	2011 年 1 月 8 日（土）開会式・予選トーナメント 関係者 7:30 集合 選手 8:30 集合（時間厳守） 2011 年 1 月 9 日（日）決勝トーナメント
会場	江戸川区陸上競技場・臨海球技場（荒天時は、近隣小学校にてフットサル）
主催	江戸川区サッカー連盟
主管	江戸川区サッカー連盟少年部
後援	江戸川区
目的	友好都市、安曇野市穂高の少年と江戸川区の少年とのサッカーを通じた交流、親睦を図ること。
参加チーム	江戸川区サッカー連盟少年部加盟チーム、穂高少年サッカースクール。
参加資格	江戸川区サッカー連盟少年部加盟チーム、穂高少年サッカースクール。 参加選手は 6 年生以下とし、おのおのの団体が認める登録選手とする。
参加費	1 チーム ¥2,000 とする
試合運営	江戸川区サッカー連盟少年部 運営委員会により行う。
規則	（財）日本サッカー協会競技規則に準ずる。
大会方式	順位トーナメント方式。 20 分－5 分－20 分とし、延長戦は行わない（決勝・3 決を除く）。 PK 戦とする（順位トーナメントはコイントス）。 ※上記試合時間は、参加チーム数により変更する可能性がある。 選手登録は 25 名までとし、選手の交代は「自由な交代制」。 ベンチスタッフは 3 名までとし、ハーフタイムのお手伝いも禁止。 試合球は 4 号球（空気圧 0.8）を使用する。 ユニフォームは異色を 2 着背番号付で用意する（GK も同様）。
表彰	優勝、準優勝、三位、敢闘賞
その他	大会規定の詳細は別途定める。 グラウンドの整備及び備品等の準備撤収については、江戸川陸上競技場、臨海球技場ともに全チームがグラウンドの準備（ライン引き等）を行い、最終試合のチームがグラウンド整備、備品等の撤収を本部、運営と共に行う。 応援は指定された応援エリアで行なうこととする。
連絡先	江戸川区サッカー連盟少年部 運営委員会 運営委員長 菅谷 芳秋

新春親善少年サッカー大会規定

【大会規定】

1. 予選は敗者戦のあるトーナメント制、決勝は決勝及び順位トーナメントを原則とする。
2. 試合時間は40分（前後半各20分）とする。ハーフタイムは5分。
3. 時間内で勝敗が決しない場合、予選及び決勝トーナメントは、PK方式（PKは5名）とし、決勝戦・3位決定戦のみ10分間の延長（前半5分、後半5分）を行う。延長戦で時間内に勝敗が決しない場合は、PK方式で決する（PKは5名）。尚、順位トーナメントにおいては、コイントスで決する。
4. フィールドサイズは、連盟少年部区民大会及び高学年大会と同様、80m×50mを原則とする。ただし、陸上競技場のA面、B面においては、施設の関係上この限りではない。
5. ゴールは少年用。FKの際は7m以上離れる。
6. 試合ボールは4号球（0.8気圧）とし、両チームが持ち寄り、主審が決定する。
7. 試合出場選手の数は、11名とし最低7名以上で試合成立とする。なお、ベンチ入りの選手数の上限は11名（全22名）、コーチは3名とする。
8. 選手の交代は『自由な交代制』とする。交代にあたっては交代選手が第四審判に申告し、用具のチェックを受ける。交代カードは使用しない。
9. メンバーチェックは、各チームの最初の試合開始15分前までに本部前にて行う（時間の関係で1回のみ）。その際、メンバー表を2部用意する（選手証は必要なし）。尚、メンバー表は各コートにおいて四審及び相手チームに提出する（メンバーチェック時の本部提出はなし）。
10. 出場チームは試合開始5分前までに所定の場所（各コートのベンチ裏）に集合すること。試合開始時間を過ぎて集合なき場合は放棄とみなし、当該試合を含め当該チームの試合は全てフレンドリーマッチとする。
11. 試合中退場処分を受けたものは、次の試合1試合に出場できない。
12. 眼鏡は安全確保のため認めない。尚、スポーツゴーグルは可とする。
13. 参加選手は全員スポーツ傷害保険に加入していること。
14. 各チームの帯同審判員は2名とし、試合は主審、副審2名、四審の計4名で行なう。雨天の場合は、インドアフットサルとなるので、各チーム1名、主審、副審の2名で行なう。
15. ウォーミングアップは、定められた場所で行なうこと。ハーフタイム時に次の試合予定の選手、コーチがフィールドに入って練習を行なうことは認めない。

高学年用

